



Lamborghini Murciélago

実車はV12 6.2L、580PSを誇るモンスターマシン。その価格も2777.25万円とド迫力である。ミニッツではヘッドライト内蔵や社車のエンブレムなど、完成することなく細部までしっかり作り込まれている。1万6590円。

Ferrari F430

360モデナの後継となるF430が早くもミニッツのラインナップに登場した。実車の価格は2079万円から。ドアミラーに刻まれた「F430」のエンボスやブレーキローターまで再現する凝りようには脱帽である。1万7640円。



ミニッツが叶えてくれる 超豪華カーコレクション。

KYOSHOの最新ラインナップで、
あなたも総額〇億円のオーナーに!?

photographs: Taroni Matsuzono

実車とR/Cカーの比較はミニッツだから許される、と言いつつしまおう。それもこれも細部までこだわり、実車の持つ雰囲気を可能な限り再現するミニッツだからこそ自信をもって言える話である。

完成したミニッツのF430をフェラーリ本社に見せると、ひと言「Perfecto!」(完璧!)と回答があった、というエピソードも、実物を手にすればうなずける話だ。ドアミラーに「F430」と刻まれたエンボスや、ブレーキローター、跳ね馬のエンブレムまで忠実に再現しているところなど、見れば見るほどよくできている。

それはどこまでミニッツの完成度は高い。たかがR/Cカーとは決して侮れない、独自の世界に引き込まれてしまう。もちろん実車の持つ魅力にはかなわない。けれども、逆立ちしても買えないような数十万円もするクルマに、ミニッツでなら手が届く。超が付くほどの高級車を数台も所有する賢人に滑ることもできる。

そして、価格以外で実車と異なる点、それもちょうどうれしい点に、そういつた高級車を手軽に走らせることができるというのがある。ミニッツは、ボディから動力部、サスペンションまで、すべてのパーツを個別に購入できるから、万が一ちよつとぶついたりしても、交換部品がすぐに揃う。実車なら数十万円、下手をすれば数百万はかかるところ……。だから、フェラーリでもランボルギーニでも、オーナーになりきって思い切り走らせることができる。

魅惑の超豪華カーコレクション生活。クルマ好きなならだれでも思い描くその夢を、ミニッツは叶えてくれる。



妥協のない精細さとは裏腹に、乾電池(別売)を入れるだけで走らせることができるミニッツ。意のままに操れば、オーナー気分も最高潮に達するといふもの。プロポセット価格1万6590円。



Ford GT

フォード創業100周年を記念して作られた限定モデル。約1500万円は破格だったが、日本に入ったのは数台のみ。質感も色合いも出た出来となったミニッツは、白いボディカラーにブルーのストライプが映える。1万6590円。



Hummer H2

戦車のような外観をよそに、車内は意外とラグジュアリー。実車価格774.9万円から。ミニッツにはメタリックグレー、イエローに加え、ブラックが追加。手のひらサイズながらも重厚感を感じさせる完成度だ。1万6590円。



Lamborghini Countach LP400

スーパーカー世代の心をいまだに蝕んでいない伝説の名車がミニッツで甦った。実車の相場は程度の良いもので約1200万円というが、タマ数は非常に少ない。まずはミニッツであの頂を思い出したい。1万6590円。